

令和元年度 第1回 砂川市総合戦略推進委員会

○委員

団体名	役職	氏名	備考
砂川商工会議所	会 頭	其田 勝則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡本 昌昭	
新砂川農業協同組合	専務理事	佐々木 孝一	
砂川観光協会	会 長	石家 裕二	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	北市 裕之	
砂川建設協会	会 長	三土 壽廣	
砂川市校長会	会 長（砂川中学校校長）	奈良 浩幸	
砂川青年会議所	理事長	平尾 嘉典	
砂川地区連合会	会 長	竹内 伸子	

○市役所

総務部長	熊 崎 一 弘
市民部長	中 村 一 久
経済部長	福 士 勇 治
建設部長	近 藤 恭 史
教育次長	河 原 希 之
市立病院事務局長	朝 日 紀 博

○事務局

総務部政策調整課長	井 上 守
総務部政策調整課長補佐	玉 川 晴 久
総務部政策調整課企画調整係長	谷 地 雄 樹

1 開会

事務局(政策調整課長)

本日は、忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。ただいまから、令和元年度第1回砂川市総合戦略推進委員会を開催させていただきます。開催にあたりまして、善岡市長より挨拶を申し上げます。

2 市長挨拶

善岡市長

おはようございます。本日はご苦勞様でございます。久しぶりの会となりまして、今新鮮な気持ちでここで話をしておりますが、砂川市の総合戦略推進委員会ということで、ちょうど、平成27年からの5年間が終わりました。今度新たに、5年間の計画となるわけでございますが、5年前の人口問題研究所の、砂川市の予想人口は16,257人でございますけども、実際は16,930人ということで、人口問題研究所の予測よりも、プラスの数字になっています。その1つには、総合戦略の中でやってきた、いろいろな事業が効果があったと思っております。子育て、定住促進、空き家対策、それらにかかる経費は経常経費で5千万から7千万、これだけ経費を出している市町村は空知では岩見沢と砂川くらい、ということで、これらの政策が、影響したものと思っておりますけども、他の市町村もどのくらいかということ、子どもは増えておりません。やはり国の将来を考えると、結婚して、子どもを産んでくれればよいのだが、結婚しなくてもいいじゃないかという風潮の中では、なかなか子どもを産むことは難しいかなと。ただ市町村の力でどこまでやれるか、それも本当に一番必要などところにやっていく必要がある。少子化対策だけではなく、いろんな高齢者対策、いわゆる高齢者の安心にもつながることとして、砂川で言うと介護保険料が4番目に低い、国民健康保険料が5番目に低いとか、または、駅前に自由通路があり、地域交流センターがあり、市役所が新しくなる、または国土交通省の無電柱化があり、新しく変わった施設があることによって、通った人が砂川が変わったというように、1つではなくいろいろな要素が重なってまちは人を確保している。よく言われるのは、伝統的に、数多くの地域町内会単位でイベントをやっているとか、やはり他から見ると市立病院がある。なんで砂川は、継続してやれているのか。それは地域の人たちが主体的に残そうとしてやっている。砂川市はそれを応援している。だから地域の人たちは苦しい中でもやってくれている。そういう関わりの中でまちな魅力がある。公共の基盤整備、水道も下水道も、砂川の整備事業もきちんとしていたりとか、財政もしっかりしていないと、まちづくりもしっかりできない。厳しくなるとできなくなる。財政を健全化しながら、子育て施策などもバランスよく無理しないでどう実施していくかが重要。砂川市は人口が少ないほうでは、しっかりとやっているという道の方からも言われている。皆さんからいろんな知恵を出してもらって、砂川の魅力を発信していく。人口は増えなくても、頑張っって持続可能にしていく。皆さんの力で5年間の計画を、いろんな意見を出していただいてバランスよくやっていただきたい。

最後に一点だけ。コロナ対策についてです。国の方では財政的な対策を打ち出しますが、1つは制度融資。砂川の制度融資の方が償還期限が最長7年間であり、また、新しく保証料も利子も全額補給するため、国より内容が良くなっています。また、国の方ではその他中小企業対策として現金給付を考えているようです。ただある程度ハードルはあると思います。砂川市で何をするかというと、まず飲食業対策として、民間主導のクラウドファンディングを通して、みんなの力で飲食店を1件でも応援していきたいということで、社交飲食協会にも頑張ってもらっています。また、その他市独自の支援策についても考えております。国と同じようなタイミングで、国にはできない隙間を埋めていくのが市町村の責務なので、そんなことを考えていきたい。どうぞ今日はよろしくをお願いします。

事務局（政策調整課長）

市長については、公務のため、これにて退席をいたします。

事務局（政策調整課長）

ありがとうございました。それでは、其田様におかれましては、正面の席へご移動願います。（正面の席へ移動してもらう）委員長よりご挨拶を頂戴したく存じます。よろしくお願ひいたします。

3 委員長挨拶

委員長

みなさまお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ご存じのように、第7期の総合計画は着々と進んでおり、もうまとめる段階に入っております。そちらの総合計画と総合戦略、並行して議論が進んでおりますが、今回の場合はそれをにらんだ中での4月から始まる第2期目の戦略会議ということで、今までの確認と、今後2期目に入る内容について報告などがございます。ご質問等あれば中で大いに議論していただいて結構ですがスピーディーな形で進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

4 協議事項

事務局（政策調整課長）

ありがとうございました。それでは、この後の議事につきまして、委員長の其田様のお手元で進行をお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

委員長

それでは、これより私の方で進めさせていただきます。

それでは、次第の4番目「協議事項」に入ります。

(1)「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について」ということですが、事務局より一括で説明をお願いいたします。

事務局（企画調整係長）

それでは事務局よりご説明いたします。最初に、今までの経過についてご説明いたします。

砂川の人口減少に歯止めをかけ、持続できる地域づくりや地域の活性化につなげるため、砂川市の地方創生の取組として、平成28年1月に「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」計画を策定しました。その後、庁内の本部会議と、民間の委員さんに入っただいて策定委員会を通して、各年度ごとの計画の振り返りをしてきました。

今年度の策定委員会は今回が初めてとなりますが、本来は今年度のもっと早い時期に30年度の振り返りと、31年度・令和元年度の事業計画をお示しするところでありましたが、現在上位計画である砂川市第7期総合計画を策定しているところであり、総合戦略の内容についても第7期総合計画との整合を図る必要があることから、本日の開催になったところでございます。

今回は経過した5年間の報告と、今後の第2期総合戦略原案を示すものでありますので、今後皆様がお考えになる施策、事業等をご教示いただければと存じます。

第2期総合戦略に掲載する個別の事業については、現在策定している第7期総合計画にも掲載するものであることから、両計画の整合性を図りながら策定を進めたいと考えております。

それでは、資料1をご覧ください。「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標・KPI一覧まとめ」をご覧ください。総合戦略には基本目標1～4の4つがあり、それぞれの達成度を測るため、例えば基本目標1「安定した雇用を創出する」であれば、「創業支援事業に基づく新規創業件数」「新たな雇用者数」のように1つの基本目標に2つの数値目標を設定しました。今回は5年間の成果として、それぞれの実績値について報告したいと思います。なお、まだ3月末までの数字が出ておりませんので、今回の報告は実績見込みの数字であることをご承知おきください。

今回は達成度に応じてA～Dまでの4段階に分けて評価を行っております。達成したものはA評価、未達成のものは達成度に応じてB～D評価と分類しております。

次に、上から順番にご説明します。1番、基本目標の目標値達成度についてです。まず、基本目標1ですが、これは雇用や新規創業など、主に経済の活性化にかかる分野です。1つめの創業支援事業に基づく新規創業件数は目標値が5年間で5件なのに

対し、実績値は12件で大幅に目標値を上回っているところです。一方2つめの新たな雇用者数については、令和元年の目標値が40人なのに対し、実績値は21人で半分程度になっているところです。

次に、基本目標2ですが、これは移住の推進や観光振興により、砂川へ訪れる人の動きをより活発にしようという分野です。1つ目の砂川市の転入超過数については、計画策定当初は年間205人の転出超過状態で、それを150人まで減らそうと取り組みを進めてきましたが、ここ数年超過数が減少傾向にあり、令和元年は106人の転出超過にとどまっているところです。また、2つめの観光入込客数ですが、目標値が134万2千人なのに対し、実績値が171万9千人で、目標値を大幅に上回っているところです。

次に、基本目標3ですが、これは結婚の推進や出産、子育てをしやすい環境を整備することで、結婚や子育てを推進しようという分野です。1つめの婚姻届出数については、5年間で400件の婚姻届の提出が目標でしたが、326件にとどまっているところです。また、2つめの合計特殊出生率ですが、目標値が1.54程度であるのに対し、1.13にとどまっているところです。

続いて、基本目標4ですが、これは住環境や医療環境の整備、高齢者の在宅支援等を通して、また地域間の連携を進めることで、住み続けられる地域づくりをすすめるという分野です。1つ目の民間住宅助成金交付件数については、住宅の購入や改修等の助成金交付を5年間で385件交付する目標値を立てておりましたが、537件の交付があったところです。また、2つめの移住定住促進住宅入居率についてですが、平成28年度に、主に子育て世帯の市外からの転入を促すために、空知太に整備した1棟4戸の移住定住促進住宅ですが、4戸とも入居しており、100%の入居率につながっているところです。

整理しますと、8つの数値目標のうち、達成したものが5つである一方、未達成のものは「新たな雇用者数」「婚姻届出数」「合計特殊出生率」の3つになっているところです。

続きまして2. 施策・事業のKPI達成度をご覧ください。こちらは基本目標1～4にぶら下がる、49の事業の評価になります。個別の事業については後程主なものをご説明しますが、まず全体の概要をご説明したいと思います。全部で49事業がありますが、1事業でKPIが複数あるものもありますので、KPI数は全部で54個になります。

そのうち、31個、57.4%、半数以上が成果指標を達成しているところです。一方達成度50%以下のものは、11個、20.4%になっているところです。

【基本目標 1】

次に、基本目標ごとに主なものについてご報告したいと思います。1枚開いていただき、A3の表をご覧ください。右下にページ数が入っていますが、本表は2枚で1組になっており、真ん中のA～Dの「達成度」までは同じことを書いておりますが、その右側の1枚目に令和元年度の所見、2枚目に5年間の総合評価が記載されているところです。

最初に1ページ、2ページの、基本目標1「安定した雇用を創出する」になります。ここでは、農業や商工業の振興、人材の確保など経済の活性化にかかる事業を掲載しております。その中で主なものについて絞って報告したいと思います。2ページをご覧ください。

特に実績値が高かったものは、(1)－3「商店街空き店舗対策事業」が、目標値が5年間で5件の空き店舗の解消を目指しておりましたが、15件の解消につながっているところです。また、「創業支援事業」についても、5年間で5件の創業を目指していたところ、12件の新規創業につながっているところです。5年間の総合評価は右側になりますが、今後も商工会議所、市内金融機関等と連携しながら事業を実施していきたいと考えております。

次に、4ページになりますが、「雇用創出事業」がD評価になっております。こちらは、5年間で新規雇用者数が1件にとどまっておりますが、本年度工場施設の増設があったことから次年度に雇用に係る調査を行う予定です。今後は、砂川高校生徒と市内企業のマッチングを図る取り組みである、「ワークライフバランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」と合わせて事業を継続し、強化を図っていく事を考えております。

【基本目標 2】

次に、5ページ、6ページの基本目標2「新しいひとの流れをつくる」になります。ここでは、移住の推進や観光振興などの事業を掲載しております。6ページをご覧ください。

観光分野の事業は、大半がKPIを達成し、A評価になっておりますが、その中でも特に実績値が高かったものは、「市街地回遊誘導事業」「地域資源を核とした観光客誘致事業」について、KPIの「まちなか観光施設の入込客数」「砂川観光協会のポータルサイト年間アクセス数」が大幅な増になっており、引き続き観光協会との連携を取りながら、事業を実施していきたいと考えております。

一方、実績値が低かったものは、「砂川高校支援事業」の砂川高校入学者数は120人3間口を目標値としておりましたが、実績値は78人になっているところです。少子化による影響が大きいものですが、高校の周知広報に努め、支援を継続していきたいと考えております。

【基本目標 3】

続きまして7ページ、8ページの基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」になります。ここでは、婚活支援の推進や、妊娠、出産から子育てまでの切れ目のない支援の事業について掲載しております。8ページをご覧ください。

基本目標3の事業については、他の基本目標と比べると、若干達成度が低くなっておりますが、約5割の事業が成果指標を達成しています。その中で、特に実績値が高かったものは、「特定不妊治療費助成事業」の利用者の満足度が目標値70%のところ、実績値は100%でした。その他、「陣痛タクシー事業」や「多子世帯保育料負担軽減事業」も目標値を達成しておりA評価を得ております。いずれの事業も今後も継続し、より充実した子育て支援をしていきたいと考えております。

一方、実績値が低かったものは、妊娠・出産支援事業が目標値が支援を受けた妊婦の割合が目標値が90%であったのに対し、実績値は61.1%になっております。また、10ページ「ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業」が、目標値が利用率が80%であったのに対し、実績値は19.8%になっているところです。

【基本目標 4】

続きまして11ページ以降になりますが基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」になります。ここでは、安心して住み続けられる地域をつくるため、快適な住環境の整備のほか、医療等の充実、健康維持・増進の推進、高齢者の在宅生活の支援等幅広い分野の事業を掲載しているところです。

その中で、特に実績値が高かったものは、砂川市地域包括ケアネットワーク事業の共有した情報へのアクセス数が目標値が41,000件であったのに対し、実績値は63,080件になり、多くの医療機関や介護事業所等での利用者の情報共有が図られている成果になっています。

一方、実績値が低かったものは、屋根雪下ろし等支援事業の、目標値が申請件数が年間660件なのに対し、実績値が181件になっております。これは、今年の冬は小雪であったことも影響しております。また、3月に入ってから1件の利用があったとも聞いております。

説明については、以上になります。

委員長

それでは、只今の説明について、何か質問やご確認したいことはありますか。

—意見なし—

委員長

それでは、(1)の第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績については、この内容でよろしいでしょうか。

－異議なし－

委員長

もし何かあれば後程でも結構ですので、事務局にお話しいただければと思います。

委員長

それでは、次第の(2)「第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について」に入りたいと思います。ご説明をお願いします。

事務局(企画調整係長)

(1)第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について【資料2】【資料3】

それでは、私から第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略案についてご説明したいと思います。

はじめに、①国の第2期総合戦略の考え方になります。横書きのカラー資料「第2期総合戦略の政策体系」をご覧ください。これは昨年12月に閣議決定された、国の第2期総合戦略の体系ですが、基本目標1から4が設けられ、基本目標1「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」2「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」4「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」とされています。また、右側のピンクの囲いのところですが、「横断的な目標」として「新しい時代の流れを力にする」「多様な人材の活躍を推進する」と新たに設けられております。今後策定する砂川市の総合戦略においても、この考え方を踏まえた計画策定を進めてまいります。

次に、A3横の資料をご覧ください。こちらが、第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略案になります。策定の基本的な考え方として、先ほどお話ししました国の第2期総合戦略を踏まえる他、現行の第1期総合戦略を引き継ぎ、主な趣旨を「人口減少に歯止めをかける」「地域の住みよい環境を確保し、地域を維持する」の2点とし、そのために必要な取り組みを行っていくものであります。また、現在策定中の第7期総合計画との整合も図りながら進めていくものでございます。委員の皆様にはその視点から本案をご覧ください、忌憚のないご意見を頂ければと思います。

また、本案は現時点での案です。本日皆様から頂いたご意見や、各所管との協議の中で、変更点が生じる場合もあることをご承知おきください。

それでは1枚目をご覧ください。

【基本目標 1】

まず基本目標 1 です。タイトルは「安定した雇用を創出し、地域を担う人材の活躍の場をつくる」です。ここでは、砂川市内の企業への就労支援や、医療、介護事業者の確保・育成といった砂川市内での働き手の確保や、商工業、農業の振興策の取り組みについて触れられているところです。施策として大きく 2 つあり、(1) の人材育成、雇用対策と (2) 産業の競争力強化の 2 つについて、その右側に記載されている事務事業を通して、実現を図るものであります。

個別の事務事業については、記載の通りになっておりますが、左から施策名、事業名、事務事業名、KPI、KPI の内容、所管、事業内容、総合計画に載っているかどうかについて記載しております。基本目標 1 については以上です。

委員長

それでは、只今の説明について、何かご意見等がありますか。
—意見なし—

委員長

それでは、基本目標 1 については、以上になります。引き続き事務局よりお願いします。

【基本目標 2】

それでは続いて基本目標 2 です。タイトルは「新しいひとの流れをつくる」です。ここでは、移住定住の促進や、観光振興の他、砂川高校の活性化について触れられているところです。施策として大きく 3 つあり、(1) の移住定住の促進と (2) 観光の活性化等を通じた交流人口等の増加、(3) 高等学校の活性化の 3 つについて、その右側に記載されている事務事業を通して、実現を図るものであります。

個別の事務事業については、記載の通りになっております。基本目標 2 については以上です。

委員長

それでは、只今の説明について、何かご意見等がありますか。個人的には砂川高校を何とかしたいと考えています。
—意見なし—

委員長

それでは、基本目標 2 については、以上になります。引き続き事務局よりお願いします。

【基本目標 3】

それでは続いて基本目標 3 です。タイトルは「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」です。ここでは、婚活支援の推進から始まり、妊娠・出産への支援、さらに子ども・子育ての支援として、子育て世帯に対し切れ目のない支援の取り組みに触れられているところです。施策として大きく 2 つあり、(1) の若い世代の結婚支援と (2) 妊娠・出産・子育ての支援の 2 つについて、その右側に記載されている事務事業を通して、実現を図るものであります。

個別の事務事業については、記載の通りになっております。基本目標 3 については以上です。

委員長

多分ここが肝になってくるころだと思います。当初は行政が婚活をやることに疑問の声もありました、これは本当に深刻な問題であると思います。ここ 5 年間で婚活事業を実施し、特に青年会議所も事業を実施して頂いている。これについて、何かご意見等がありますか。

－意見なし－

委員長

それでは、基本目標 3 については、以上になります。引き続き事務局よりお願いします。

【基本目標 4】

それでは続いて基本目標 4 です。タイトルは「安心して暮らし続けることができる地域をつくる」です。ここでは、医療・介護の充実や、高齢者の在宅生活の支援、地域交通の維持・確保、住宅ストックの強化などにより、安心して住み続けられる地域づくりの取り組みについて触れられているところです。施策として大きく 4 つあり、(1) 安心なくらしの確保 (2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化 (3) 広域連携による経済・生活圏の形成 (4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保の 4 つについて、その右側に記載されている事務事業を通して、実現を図るものであります。

個別の事務事業については、記載の通りになっております。基本目標 4 については以上です。

委員長

それでは、基本目標 4 について、意見ございませんか。総合的に含めていただいても結構です。

委員

(2) ②で、1番か4番で、砂川地区連合に加盟している事務所に、タクシー会社や季節雇用者があり、その方たちの労働条件について、皆さんの方がご存じかもしれませんが、地域経済の浮き沈みや会社の業績に大きく影響されます。最低賃金は現在861円まで上がっているが、雇用が不安定な組合員もいるということで、できれば労働者が安心して働けるような、具体的には1番の雇用創出のようなことや、4番の新築住宅への補助金の拡充などを整備すれば、今砂川に住んでいる労働者がさらに住んでもらえるのではないかと考えており、その取り組みをよろしくお願ひしたいのと、私は学校に勤めていますが、先ほど砂川高校の、もう少し子どもたちをなんとかしたいというのもありましたが、地元の学校に行きたいのだけど、特別支援学級に通う子どもたちがなかなか地元の学校に進めない、なぜなら砂川高校に特別支援学級が無いため、地元に進む選択肢が無いということです。そして、保護者の方たちが砂川高校の説明会に行くが、2年生からはあるが、1年生は特に子どもたちに対する施策というのは無い。もしかすると、そういうところで地元に進める子どもたちが増えていくと、地元で貢献できる力を持っている子どもたちもいるかもしれない。そういう実態を、この機会にお聞きいただけたらと思い、お話しさせていただきたいと思ひます。

委員長

特別学級に関しては、途中まではまだあるが、高校を卒業してからどこに行くのかという行き場所が無く、市内では希望学院くらいになっているところです。対象者が増える一方なのでどこに行ったらよいのなかなか分からないというのもあります。

政策調整課長

経済対策は経済部で、次は教育次長がいるのでそちらから答えられる範囲でお話しいただければ。

経済部長

貴重なご意見ありがとうございます。タクシー業界ということでお話しいただきましたが、個別の業界に対するということは、現在予定していませんが、冒頭市長の挨拶にもあったように、全体として底上げができるような施策を図っていきたくて考えております。また、季節雇用の話もありました。季節労働者に対する支援も、近隣の市町でも商工労働観光課や商工会議所や労働組合などとも連携した支援の団体があるので、季節労働者の通年雇用に向けた取り組みもしています。全体的な取り組みの中で、雇用不安をなくしながら、安心して働くことができる地域づくりを目指していきたくて。

教育次長

砂川高校の関係、特別支援教育の関係、そこまでいかない児童生徒の方の受け口ということですが、どうしても道立高校、北海道の所管であることから、こちらでは申し上げられないところですが、そういうことは現実にはあると思います。ただ、市立小中学校については、中学校の方はなんとか、ことばの教室の延長の通級支援施設、そちらのほうについて、検討していかなければならないと考えています。そのようなことで、ご理解を頂きたい。

委員長

はい、ありがとうございます。よろしいですか。他にありませんか。無いようですので、それでは、③について説明願います。

事務局

それでは、③ですが、今後のお話になりますが、今回お示しした案をもとに、第2期総合戦略を策定してまいります。産官学金労を代表する皆様からのご意見を頂戴しながら、策定を進めていきたいと思っております。今後またご意見をお伺いする場が出てくると思っておりますので、その際はよろしくお願いたします。

また、本日お配りしましたスケジュールについてこの場で触れさせていただきたいと思っております。左から第7期総合計画審議会、第2期創生総合戦略推進委員会、議会・市民関係の3項目で、今年4月から来年3月までの1年間のスケジュールになっております。左の総合計画の審議会については、部会、審議会を開催し、6月下旬に市長への答申を行うと考えております。その隣の総合戦略は、総合計画の策定を見ながら、7月上旬に推進委員会を開催し、12月の下旬に総合計画の議決を経たのち、推進委員会を開催し総合戦略を完成させたいと考えております。また、議会・市民関係ですが、7月下旬にパブリックコメントを実施する他、9月、10月で総合計画案について議会委員会に提案してご協議して頂き、12月議会で議決を経て、3月に総合計画冊子の配布を行うという流れになっております。③については以上です。

委員長

③については、今後皆様のご意見をお伝えいただきたいということでして、毎日受け付けますので、いろいろな意見があればお越しいただければと思います。また、この会については7月に総合計画が答申された後、7月以降に開催しながら、細かいところを詰めていく、という流れになります。③について何かございますか。

—意見なし—

5 その他

委員長

次に、5番目「その他」です。全体を通して、委員の皆さまがたから、何かございますか。

－意見なし－

委員長

事務局から何かありますか。

－意見なし－

委員長

それでは、本計画については、日ごろお考えになられていること、どこで言えばいいのか、ということ、直接役所に言っていただいて結構でございますので、お話をしていただければと思います。以上で、第1回砂川市総合戦略推進委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

会議終了（10：40）